

宇治キャンパスで活動されるみなさま

宇治キャンパス新型コロナウイルス対策本部長

塩谷雅人

昨日の京都大学危機対策本部からのメッセージにありますように、5月22日より本学の「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドライン」における各カテゴリーの対応レベルがレベル3からレベル2に変更されました。授業については、引き続き、原則としてオンラインで実施できるものに限られますが、研究活動については、感染拡大の防止に最大限配慮したうえで、可能な限り研究室における研究作業時間を削減し、可能な作業は自宅で行うこととなります。

宇治キャンパスの対策本部では、この研究活動の再開に際して、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを用意しました(添付ファイルをご覧ください)。所属研究科からより詳細な指針が出ているところでは、まずそちらの方針に沿っていただいで結構ですが、複数の研究科の協力講座からなっているような部局などでは、この宇治キャンパスのガイドラインを活用していただけるとよいかと思えます。

先週は、研究活動について助走をはじめていただいでよい旨のメッセージをお送りしましたが、今回のレベル変更に伴って徐々に研究活動を再開してもよいと考えていただいで結構かと思えます。一方で、たとえば研究室に学生や研究員が長時間溜まって、密」な状態を作り出すようなことは厳に慎むよう配慮して下さい。

引き続き宇治地区構成員のみなさまには、教育、研究、運営に関わる活動に対して、緊張感を持続しつつ行動していただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン (宇治キャンパス版)

http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/corona/uji_guideline.pdf